

令和元年10月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 令和元年10月30日(水) 9時00分から10時05分まで
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委員 渡辺 義弘
委員 安東 雅幸
委員 神田 岳委

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	後藤 徳一
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	瀧澤 愛	社会教育課総括課長代理	安藤 隆文
文化・文化財課総括課長代理	神田 高士	文化・文化財課課長代理	東 貴則
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	加藤由梨花

5. 傍聴人 木村 公治

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにし

たいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可することいたします。

(傍聴者 入場)

これより臼杵市教育委員会、令和元年10月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りいたします。次に、会議録署名委員に、安東委員と垂井委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、

①報告第15号 専決処分の承認を求めることについて

(教職員(小・中学校)の内申について)

②「5. 教育予算について」の「令和元年度補正予算(12月定例市議会)について」

の2つを非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

(教育長)

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

報告を行う前に、今日の新聞記事について少しお話したいと思います。

「異動の地域や期間来年度一部見直し」ということで、県教委の方針が出ています。内容は、「小中学校教職員について、若手の経験向上のため採用後おおむね10年以内に3地域以上で勤務すること」と定めていた広域異動の基準に関し、これまでカウントされていなかった同じ市町村内での小中学校間の異動も1地域とみなすように変更するというもので、来年度からこの方針でいくということです。これは4年くらい前に、臼杵市から県に要望をしていました。併せて、県の教育長協議会の中でも要望してきました。やっと県の方針として見直すことになりましたので参考までにお知らせします。

それでは、10月の行事報告をします。

1日 ・総合計画検討委員会

今、総合計画後期計画の見直しの検討を進めています。今年度見直しをするという事で検討をしています。

- 2日
- ・運営計画中間市長報告
教育委員会の上半期の状況、下半期の取り組みということで報告しました。
 - ・目標管理校長面談
毎年行っていますが、校長の中間面談ということで9月24日～10月7日まで行いました。
- 3日
- ・中体連新人大会
 - ・教職員組合当初予算交渉
教職員の人員確保、処遇改善等についての交渉がありました。今年は独自に9月からタイムカードを導入しています。いわゆる働き方改革の一環であり、そういったことを踏まえて試行で実施しているところですが、教職員の方からは、「持ち帰り仕事の把握をどうするか」ということを課題として挙げられています。今後、しっかり検討していく必要があると思っています。
- 7日
- ・職員採用試験委員会
45名が受験をした市の職員採用試験ですが、一次試験の合否を決定しました。
- 8日
- ・定例校長会
「目標管理のヒアリングを受けて、来年度にしっかり反映していくこと。」とお話をしました。
 - ・ヒューライツフォーラム実行委員会
今年、臼杵市で開催されるのでその実行委員会がありました。
- 9日
- ・事務局職員面談
教育委員会事務局の職員の面談です。毎年実施していますが、新しく教育委員会にきた方の半年の状況について面談しました。
- 10日
- ・第33回九州都市教育長協議会総会、研究大会（～11日）
今年は宮崎でありました。毎年、文科省の担当が来て話をしますが、「未来の教室」に向けて～第4次産業革命を生かす学び、そんな時代を生きるための学び～」ということで、これからAIやロボット、IoT等の時代になってきます。その時代を生きる子どもたちをどう生かしていくかということで、学校教育（文科省）と民間教育（経産省）との連携が必要になるとの話がありました。非常にこれからの教育の仕方が変わってくるという印象を受け、これから考えていかなければならないということを感じた研究大会でした。
- 13日
- ・臼杵幼稚園運動会
垂井委員も出席されました。今年度、臼杵幼稚園は閉園となりますが、園児10人最後の運動会でした。天気にも恵まれ、保護者やお年寄りと一緒に楽しく運動会が開催されました。

- 17日 ・人材育成市民連携会議
垂井委員も出席されました。毎年ありますが、「今年度の小学校、中学校、高校の取り組み状況について」と、市長より、去年から取り組んでいる「うすき丸5つの約束」について「未来の白杵を担う人材を育てる」ということで、方針を作ってこれから取り組んでいきたいとの話がありました。来週総合教育会議がありますが、その中でもこの話があるかと思います。
- 18日 ・ヒューライツフォーラム2019
- 21日 ・職員採用二次試験（～23日）
グループワークと面談がありました。
- 23日 ・中学校修学旅行A班
二班に分かれて出発しました。少し天気が悪かったようですが、特に事故もなく無事帰りついたということです。
- 24日 ・バチカン図書館館長白杵訪問
26日の国際シンポジウムのために来県しており、白杵のキリシタン関係の視察をされました。雨でしたが非常に喜んでいました。
- 25日 ・職員採用試験委員会
市の職員採用試験の最終決定で、本日公表となっています。事務職6人、消防士1人です。
- 29日 ・定例教頭会
マレガプロジェクトについて、「もう少し市民の方に知ってもらうことから始めないといけない」ということで、教頭会でお話しました。皆さんに知っているか聞きましたが、ほとんど知らないという状況でした。
- ・白教研からの要望
来年度予算の確保に向けて要望がありました。
- 30日 ・白教研研究発表
本日午後から南中でありますので出席します。
- 31日 ・第60回大分県音楽教育研究大会
・キリシタン遺跡調査委員会

以上で説明を終わります。垂井委員から何かあればお願いします。

(垂井委員)

幼稚園の最後の運動会について、2つ感動したことがありました。

1つ目は、入園式で非常に落ち着きのなかった子についてです。1学期末に行ったとき、「こっちに集まって」と先生が言うと大体は集まっていたのですが、やはり違う方に行ってし

まったりすることもありました。しかし、明らかに入園式の様子とは変わっていて、先生が言うことに少し耳を傾けることができるようになってきたとのことでした。そして、運動会での様子ですが、その姿をほとんど感じさせないで輪に溶け込んでいました。先生の苦勞や、保護者の方の協力、理解があったのだということを感じました。

2つ目は親子リレーです。ほぼプログラムが終わりに近いところでありました。とりあえず練習として1回走ってみたときに、負けた方が「もう一回」と言いました。ここまで10人で全ての演技を行ってきて疲れているはずなのに負けた方が一斉に「もう一回、もう一回」と言うと、勝った方が「いいよ」と言いました。本当に疲れ果てていると思いますが、終わった表情が「やったんだ」という子どもなりの充実感に満ちていて、周囲からも何度も温かい拍手が送られていました。本当に良い運動会だったと思いました。

続いて、人材育成会議です。高校の定員減に対する中学校の対応で、3年生だけではなくて2年生、1年生の人数をきちんとみんなが知っておくことが大事ではないかとの話がありました。今年定員減になると、来年また増えるということは考えにくいので、このようなことに対する中学校の構えと、併せて小学校の5、6年生の人数をきちんと把握したうえで、可能な限り「地元の子は地元で育てる」ということを貫いていくことが大事です。「そのためにもどのようにあるべきか」ということを考えていくことがやはり人材育成であり、小学校から中学校、中学校から高校へ繋ぐことではないのかということが話に出ました。

(教育長)

ありがとうございました。その他、質疑等がありましたらお願いします。

(安東委員)

新聞記事についてですが、「併せて、運用面で、「原則3年」としている勤務期間を見直し、2、3地域目は4年で異動するとした。」とありますが2、3地域目を合わせて4年なのか、それぞれ4年なのかどちらでしょうか。

(教育長)

おそらくそれぞれだと思います。

(安東委員)

3年、4年、4年で11年になるということですね。

(教育長)

また詳しい説明があると思います。

3. 協議事項

(教育長)

これより「次第 3. の協議事項」に入りますが、「報告第 15 号」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

(教育長)

それでは、これより、議案審議に入ります。

第 37 号議案に移りたいと思いますが、その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、第 37 号議案の「臼杵市立幼稚園の設置に関する条例の一部改正について」の説明をします。

(教育次長兼教育総務課長)

第 37 号議案 臼杵市立幼稚園の設置に関する条例の一部改正について

今回条例の一部改正を提案する理由ですが、ご承知の通り令和 2 年 4 月 1 日から臼杵幼稚園を廃園することに伴い、関連する条例を 12 月定例会市議会に上程するにあたり、事前に教育委員会にお諮りするものです。

具体的な改正内容については、「別表の「臼杵市立臼杵幼稚園」を削る」という内容となっています。なお、教育委員会の動きに関連して、市長部局の子ども子育て課においても「臼杵市立保育所条例」の一部改正の提案を、12 月定例会市議会で行うこととなります。

「臼杵市立保育所条例」の改正においては、「題名を「臼杵市立認定こども園条例」に改める」ということと、現行の条例の中にある、「下南保育所」及び「佐志生保育所」を削る」という内容です。これまで休園状態にあった佐志生保育所も 4 月 1 日から、下南保育所と合わせて廃園することとなり、新たに「下南認定こども園」ができるという旨の条例改正も、教育委員会の条例提案と合わせて、12 月定例会市議会に審議することとなっています。

臼杵幼稚園の廃園については、これまで市議会の全員協議会及び一般質問等で十分ご説明をしておりますので、特に支障なく 12 月定例会市議会に審議、可決されることと思っております。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第37号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

続いて、第38号議案の「臼杵市フッ化物洗口事業検討委員会設置要綱の一部改正について」を説明します。

(教育次長兼教育総務課長)

第38号議案 臼杵市フッ化物洗口事業検討委員会設置要綱の一部改正について

今回条例の一部改正を提案する理由ですが、この要綱は平成28年度に作られました。検討委員会設置の目的は、「小学校」でのフッ化物洗口を念頭に置いた検討委員会を組織する」というものでしたが、来年度「中学校」での実施に加えて「公立幼稚園」での実施も予定しているため、それを見据えた要綱改正をするためです。

改正内容については、「第1条中「小学校」を「公立学校及び幼稚園（以下「公立学校等」という。）」に改める」とことと、第3条で、検討委員会の構成メンバーについて表記していますが、この中の「第3条第2項第3号中「小学校」を「公立学校等」に改め、同項第4号中「小学校校長」を「公立学校等の長」に改め、同項第5号中「小学校」を「公立学校」に改め、同項第6号中「小学校」を「公立学校等」に改める。」ということです。

なお、来年度中学校での実施については、県教委の全県目標としても挙げられていますので、臼杵市教育委員会も来年度中学校全校実施を目指していきたいと思っています。公立幼稚園は、臼杵幼稚園が廃園となるので、野津幼稚園のみとなりますが、野津幼稚園は体制を整えば今年度から実施できればと考えています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

小学校全校実施、そして来年度からは中学校全校の実施ということで、小学校実施の明らかな成果として教育委員会はどのようなことを把握していますか。

(教育次長兼教育総務課長)

虫歯の本数で言うと、29年度は県下で3番目に少なかったです。ただ、大分県が全国でワースト3という状況なため、県下では上位に入っていますが、まだ全国平均の0.8本には至っていません。まずは全国平均に達するよう目指していきたいと思っています。

ただ、臼杵市においての実施率の課題がまだ残っています。県下では約86%の実施率と なっていますが、臼杵市は46%ということで、低い状況となっています。この理由は様々 ですが、臼杵市としては、丁寧な説明を基本にあくまでも「保護者の十分な理解を得たうえ で」ということで進めています。そのようなこともあって、やや実施率が低調ではありますが、学年別でみると小学校1年生では、70%を超えており、2年生では60%とい うことで、この結果は、幼稚園、保育園での実施が徐々に小学校へ浸透してきているものと思っ ています。全体でも数年のうちには70%を超えるのではないかと考えています。このような 状況に合わせて中学校も気負いすることなくやりたいと思っています。中学校での実施に ついては、県教委が教員に向けた説明会にも積極的に参加してくださるといことなので なんとか実施率の向上に向けて努力していきたいと思ひます。

(垂井委員)

その後、液を飲み込んでトラブルになった等はありませんか。

(教育次長兼教育総務課長)

直接報告は受けていません。関連してですが、異物が混入した場合は微細な場合でも丁寧 に情報公開していますし、全小中学校長に情報共有することとしています。また、当該校の 保護者にもきちんとお知らせするという体制を取っていますので、実施に関する信頼性は 担保できていると考えています。

(安東委員)

今の情勢の中で、フッ化物洗口について中学校や幼稚園に入れたいという状況ではない というように私も認識しています。中学校現場は特に丁寧な説明をしていただきたいのと、 中学校の場合にはどの時間帯にするかというのが難しいかと思ひます。私が考えるに朝しか ないかなと思ったりもしますが、その辺の学校との連携をしっかりと取っていただいてスム ーズな実施に向けて配慮していただけるとありがたいし、効果を保護者に向けて丁寧に説 明していく必要があると考えています。

(教育長)

第38号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

4. 学力向上について

(教育長)

続きまして、「4. 学力向上」に移ります。「令和元年度第2回教育事務所訪問について(報

告)」説明をします。

(学校教育課長)

10月2日～16日にかけて、大分教育事務所が市内小中学校を訪問した結果を資料に載せています。大分事務所が作成したものになりますが、大きく分けて2つあります。

1. 学校マネジメントの深化「4つの観点」に基づく指導助言

(1) 【観点Ⅰ】(重点目標達成に向けての取組指標の設定具合)

「もう少し具体的な取組指標が必要」ということで3校ほど挙げられていました。

(2) 【観点Ⅱ】(客観的なデータのもとで改善方策を進めてほしい)

客観的なデータを基にということではよい評価がされています。「今後、年度の引継ぎ等もしっかり指導してほしい」ということを言われています。

(3) 【観点Ⅲ】(指導主任、教務主任、ミドルリーダー等の実働に関すること)

「プロジェクト会議がしっかりできている」ということと、「運営委員会の取組がもう少しだ」という学校の指摘がありました。主幹、教務等の実働については良い評価がされています。

(4) 【観点Ⅳ】(専門スタッフの活用について)

「チームカンファレンス等が有効だった」、「事務職員も運営委員会、学校参画等が進んでいて、今後も事務職員の参画をすすめてほしい」という意見がありました。

2. 授業改善の徹底

(1) 授業の骨格である「めあて、課題、まとめ、振り返り」の中の「めあて、振り返り」の重要性を各学校で指導していました。

(2) 「板書計画の丁寧な作成が有効だった」との意見がありました。

(3) 「生徒による授業評価が行き渡っており、授業改善に活かされている(特に中学校)」という評価でした。

授業改善については、「めあて、振り返り」のことが各校で指導されていたので、校長会で市教委が作成した「授業改善39チェックシート」を配布しました。「ねらい、評価基準、めあて・課題・まとめ・振り返り」について、基本となる事項をもう一度学校に押さえてほしい」ということで、周知するようお願いしました。今度の市教委訪問では、概ねこの39チェックシートを基にしてくれると考えています。今回、11月の市教委訪問に向けて大分教育事務所訪問の様子も参考にさせていただければと考えて報告させていただきました。

(教育長)

報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

来月、市教委の学校訪問がありますが、色々な視点で深く授業を見ていただき、ご指摘いただければと思います。よろしくお願いします。

5. 教育予算等について

(教育長)

これより「次第5. 教育予算について」に入りますが、その前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

6. その他

(教育長)

それでは、「6. その他」に入りますが、その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、「令和元年大分県教育功労者表彰について」を学校教育課より説明します。

(学校教育課長)

令和元年大分県教育功労者表彰についてですが、臼杵小の桑原校長先生の受賞が決定しました。今後の予定ですが、11月3日に県で表彰式が行われる予定です。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

続いて、「第42回大分県人権教育研究大会及び第5回大分県人権・同和保育研究集会について」と、「令和元年度生涯スポーツ功労者表彰について」の2件について、社会教育課より説明します。

(社会教育課長)

まず、第42回大分県人権教育研究大会及び第5回大分県人権・同和保育研究集会についてですが、10月18日、19日の2日間、臼杵市民会館を中心に開催しました。県内各地

から935名が参加し、「部落差別解消に向けた人権の啓発」に向けた学習会を行いました。18日は、大阪教育大学の土田先生の講演、19日は、6分科会、14会場に分かれて、テーマごとの意見交換等を開催し、学びができたと思います。毎年、各市町村持ち回りで、来年度は竹田市での開催予定となっています。

次に、令和元年度生涯スポーツ功労者表彰についてです。臼杵市の北山為友さん(98)現役の方で、県民体育大会ゲートボールの男子監督ということでご尽力いただいています。今回文科省の方から表彰の決定ということでお知らせがありました。先日あった東京での表彰式には、ご高齢ということで本人は行けませんでした、非常に元気な方です。今週、受賞報告ということで、市にお見えになってくださることとなっています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

それでは、残る2つの報告「令和元年度大分県文化財愛護功労者の表彰者決定について」と「首藤定氏の書の寄附について」を文化・文化財課より説明します。

(文化・文化財課長)

令和元年度大分県文化財愛護功労者ということで、市役所のOBである菊田徹さんが昨日の午後、県庁で表彰されました。功績としては、大学卒業後、宮城県多賀城跡調査研究所に勤務し、古代城柵調査に携わりました。現在でも、「うすきっこガイド」、「資料館講座」、「絵図ウォーク」などの講師として、臼杵の歴史の面白さを市民に伝える活動を続けているということで推薦させていただきました。県内では、4名の方が受賞されています。

続いて、首藤定氏の書の寄附についてです。「和常守生人(人生常に和を守るべし)」ということですが、埼玉県に在住している方からの寄附です。母親が別府市在住でしたが、亡くなられて、家を手入れする中で出てきたということで、「首藤さんは、臼杵出身の実業家であり、臼杵にゆかりのある方なので今後役立てていただきたい。」ということで寄附をいただいています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

以上で、「その他」を終わりますが、「これまでのこと」や、「全体的なこと」でも構いま

せん。何かご意見等ありませんか。

(渡辺委員)

直接議題に関わることはありませんが、退職校長会でそれぞれの活動を報告する、「地域活動懇談会」というのがあります。毎年各郡市持ち回りで報告をしますが、今年度は先日、日田市でありました。私が参加した分科会の中に、とても臼杵市を評価していて、「臼杵に続け」というような報告がありましたのでお知らせします。

玖珠、日田、九重が色々な活動をしていることを発表する中で、今、子どもたちに、臼杵がしている「臼杵っこガイド」のような試験を実施して、色々なところのガイドをさせていこうという試みがなされているようです。これは臼杵市が既に長い間行っているため、これを目標にしてやってきていて、今からも頑張っていていきたいということです。他の郡市でも臼杵市を目指してやっているという郡市がいくつかありました。「是非臼杵もこれから目標になるように頑張ってください。」ということを言われました。日田市は退職校長会も絡んでしているようですが、臼杵市は退職校長会と直接は関わっていないので私の方からいろいろお話しはしませんでした。心地よい気持ちで聞いていました。以上ご報告です。

(教育長)

ありがとうございます。文化・文化財課長より何かありますか。

(文化・文化財課長)

基本的には「臼杵っこ育て、子どもの人材育成」というところでは、担当が昔からやってきた成果が今に繋がっているということだと思っています。最近、発展途上が横ばい状態になっていることもありますので、今後やり方の見直し等も検討しています。少しずつでも「郷土が好きです。」という思いになって旅立っていけるように支援をしていければと思っています。

(渡辺委員)

すごく目標にされているようなので、頑張ってください。

(教育長)

冒頭、マレガのことでも言いましたが、なかなか色々なことが知られていないので、子どもたちを通して知ってもらうことも大事なかなと思います。そのためにも、ガイドになってくれる人を増やさないとはいけません。その仕組みを今、文化・文化財課でしっかり考えています。

これをもちまして、10月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
